

「屋久島地域入退院支援ルール第4回メンテナンス会議 (第6回医療・介護合同会議)」実施記録

- 1 日時 令和3年6月17日(木)13時30分～14時30分
- 2 会場 屋久島町役場2階会議室
- 3 参加者 屋久島徳洲会病院, ケアマネ協議会, 包括支援センター, 屋久島町, 屋久島保健所
各1人の計5人

※ 新型コロナウイルス感染症の影響で通常のメンテナンス会議開催が困難であったことから、参加者を絞り開催した。

4 協議内容

- (1) 入退院支援ルール運用後のアンケート調査結果について報告(保健所)
送付した報告書について説明し以下の内容を共有した。
 - 運用状況について、県の目標に合わせ、今年度『漏れ率』→『実施率』に変更した。
 - 実施率は96.3%と昨年度より10ポイント増え過去最高であった。
 - ケアマネの多くが「連携がうまくいった」「入退院の機会以外でも助言をもらった」「入退院の際、詳細に留意事項が受けられた」など運用の効果を感じていた。
- (2) アンケート結果及び課題や事例について意見交換

【退院調整が漏れた事例について】

鹿児島市内の医療機関からの退院についても当該医療機関から直接ケアマネに退院情報が届く仕組みになっており、同様の事例が繰り返される場合は改めて県に情報提供する。

『当該調整ルール手引き』にあるように、転院した場合は、転院元の病院はケアマネに連絡し、ケアマネは転院先の病院と連携を図ることとなっていることから、ケアマネからも転院先に情報提供を求め、利用者の状態把握に努めてほしい。

【ケアプラン作成への活用について】

活用が、37件(52件中)と少ないが、「活用」を「プランに記載」など勘違いしているのではないか。ケアマネは計画作成後、実施状況の把握し必要に応じて計画の見直しを行うこと(居宅支援基準第13条の十三)となっており、活用は当然であることから、ケアマネ協議会でも周知することとなった。

【退院日の変更でサービス調整に困った件について】

入院患者の状態によって退院日が変更になることは多々ある。病院の各部署はケアマネへの連絡を念頭に置いているが、連絡に時間がかかったり漏れたりすることがある。

口頭でも情報提供できるため、互いに連携に努めたい。

【詳細な情報提供について】

情報提供書の記載内容については、紙面上記載する量も限られるため、不足する場合はこれ

まで同様必要に応じて病院スタッフに連絡し情報収集する。

(3) 今後の流れ

今回の意見を保健所で整理し、参加者から追加修正を求め、ケアマネ協議会で報告する。
ケアマネ協議会が開催されない場合は、次回調査依頼時に併せて送付する。

5 入退院支援ルール運用後スケジュールの今後について

(1) 次回アンケートについて

令和3年9月から10月の予定

(2) スケジュールについて出された意見

昨年度から意見を出しているが、半年ごとの運用後アンケート調査、介護支援専門員代表者会議及びメンテナンス会議については、効果的に運用されており、年一回としてほしい

→今年度運用については県に提出しており変更は難しいと思われる。

ケアマネ代表者会議は、必要性を踏まえてメンテナンス会議前に実施の必要があったが、今年度はケアマネ研修と併せるなど簡略化する。

メンテナンス会議は、調査結果を踏まえ課題等がなければ年1回の参集で事足りるので、今年度第2回は調査結果をみて開催の可否を検討する。